



平成 18 年 3 月 28 日

各 位

会 社 名 デンセイ・ラムダ株式会社
 代 表 者 名 取締役社長 鈴木 武夫
 (コード番号 6917 東証・大証第1部)
 問 合 せ 先 管理本部長 関本 和彦
 (TEL 03 - 3447 - 4411)

特別損失の計上及び連結調整勘定(のれん)の増加に関するお知らせ

当社は下記のとおり特別損失の計上及び連結調整勘定(のれん)が増加する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

(1) 固定資産の譲渡

譲渡資産の内容

資産の内容及び所在地	帳簿価格	譲渡価格	固定資産売却損	現 況
滋賀県米原市村居田字野 1241-1 土地 10,140 m ² 建物・構築物 3,449 m ²	182 百万円	70 百万円	112 百万円	遊休資産

譲渡先の概要

商 号	株式会社ビジネス・インタナショナル
本 店 所 在 地	大阪府高石市高砂2-7-8
代 表 者	田賀 春雄
資 本 の 額	48 百万円
主 な 事 業 の 内 容	中古機械の販売
当 社 と の 関 係	資本的・人的関係なし

契約締結日

平成 18 年 3 月 31 日(予定)

譲渡日

平成 18 年 3 月 31 日(予定)

(2) 固定資産の減損損失計上について

当社が所有している固定資産のうち筑波工場の一部遊休土地について、近年の継続的な地価の下落により回収可能価額が著しく下落したため、帳簿価額を回収可能価額まで減損した結果、減損損失として約7億円が発生する見込みであります。

なお、回収可能価額は正味売却価額により算定しており、近隣の取引事例を基準としております。

2. 連結調整勘定（のれん）の増加について

平成 18 年 1 月 1 日に買収を行なったラムダ欧米グループの資産を再評価しました結果、連結調整勘定の当期償却額が増加する見込みとなりましたので、平成 18 年 2 月 24 日に公表しましたラムダ欧米グループ買収に起因する連結調整勘定の当期償却額を変更いたします。

変 更 後	変 更 前
約 8 億円	約 7 億円

（注）当該のれんの効果のおよぶ期間にわたり均等償却を行い、販売費及び一般管理費として計上しています。

3. 今後の見通し

主として上記 1～2 を要因として、平成 18 年 2 月 24 日に公表しました平成 18 年 3 月期の業績予想（連結、単独）を次のとおり修正いたします。

（1）平成 18 年 3 月期の連結業績予想の修正

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年2月24日発表)	39,000	1,900	100
今回修正予想(B)	39,000	1,900	200
増減額(B - A)	0	0	300
増減率	0	0	-
前期(平成17年3月期)実績	34,112	2,154	784

（2）平成 18 年 3 月期の単独業績予想の修正

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年2月24日発表)	31,000	2,300	1,100
今回修正予想(B)	31,000	2,300	700
増減額(B - A)	0	0	400
増減率	0	0	36.4
前期(平成17年3月期)実績	29,974	1,657	779

上記の予想は現時点で得られた情報に基づいて当社グループが判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる場合があります。

以 上